

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ピュアスウィング	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	△RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ピュアスウィング**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

番

4

MB 4in

**比較対照ボール：フルスウィング**

フレアーの幅  インチ

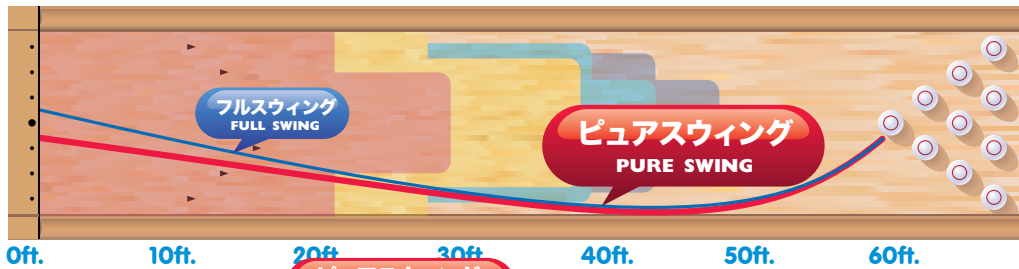
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

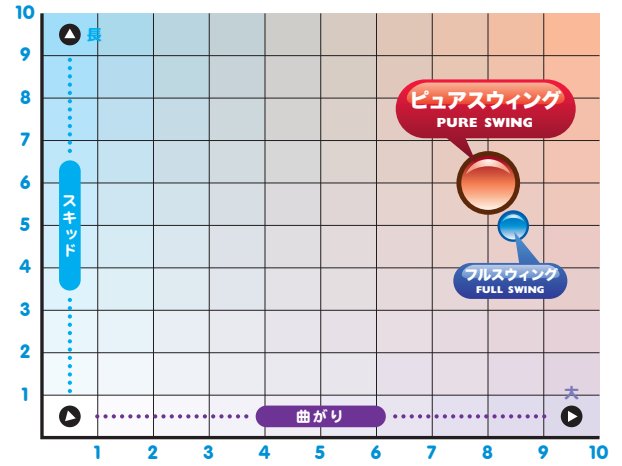
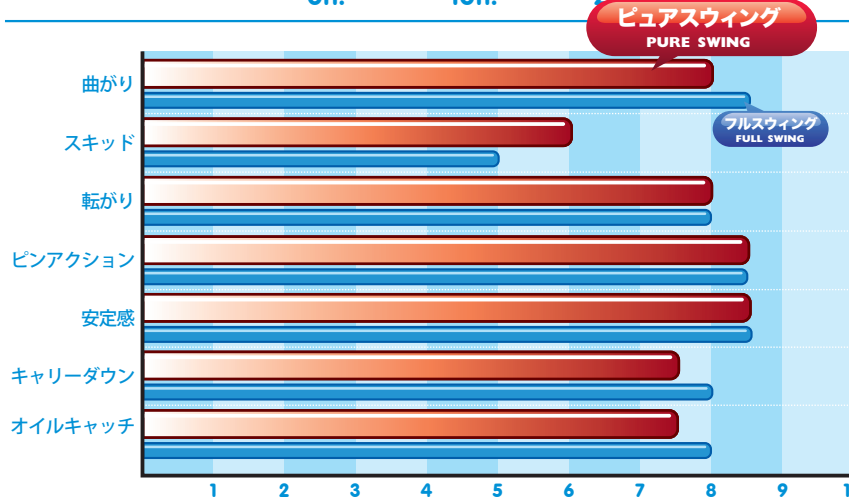
番

4

MB 4in



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

初代モーメントスウィングはオイルに負けない持続的で緩やかなリアクション性能はコロムビア社が提唱する「スイートスポット」の現われであり、前回のフルスウィングはそのリアクション性能をバックエンドに傾かせ、フリップ感のある攻撃的にラインを攻める性能でした。スウィングシリーズで全く異なった性能でもありますが、今まで発売されたスウィングシリーズが一つも欠ける事なくプロトーナメントで優勝を成し遂げられるのは、そのシリーズ一つ一つにおける類まれなる性能が大事な優勝決定戦で”そのボールをチョイスする”という信頼に値するという性能であるということ。

今回のピュアスウィングもコロムビア社が自信と信頼をもってここに発売致します。

今回注目したいのはFull Tilt 5.0パールカバーストック。前回フルスウィングで使用したFull Tilt 5.0カバーストックのパールバージョンで、パール=スキッドというイメージよりも”リアクティブ感”のある反応の良いグリップ感を求めた結果のパールという意図が伺えます。フルスウィングとの投げ比べでは強いカバーストックに見られる急にオイルが薄くなったように感じる手前の捕まり具合やミッドエリアでボールが”折れる”ことが少なく、刻々と変わるコンディションに対してのラインの変化を余儀なくされるキャッチ系強いカバーストックの弱点と、スキッドと回転動力を幅広い用途で補えるリアクティブ素材の利点を生かすためのこのFull Tilt 5.0パールカバーストックと感じました。カバーストックの性能は時にコンディションにより、反応が鈍く感じたり、スキッドを感じなかったりする経験もあることでしょう。このピュアスウィングは、幅広いコンディションでのリアクションの差を埋めるものであり、ボールが持つ性能を限りなくあらゆるコンディションで発揮する目的で作られたと言っても良いでしょう。

### 特記事項

**キャッチ系カバーストックの弱点とリアクティブが持つ万能さを利点とし、幅広いコンディションでリアクションの安定を求めた正統派スウィングです。**